

いで湯の里だより

発行日：令和4年10月7日
発行所：特別養護老人ホーム
いで湯の里

ごあいさつ

施設長 鈴木隆夫

寒露の候、ご家族の皆様には、日頃より温かいご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、私は本年4月に、施設長を拝命いたしました鈴木隆夫と申します。ごあいさつが遅くなり、誠に申し訳ございません。

新型コロナウイルス感染症第6波が落ちつき、ようやく7月に窓越し面会が再開できたところ、安堵したのも束の間、今度は第7波が押し寄せ、様々な制約が復活してしまうことになり、言うに言われぬ、もどかしさを今も感じております。

このような状況下ではありませんが、第8波襲来の予想もある事から、ここでしなければタイミングを失すと考え、今回ご案内させていただきまして、窓越し面会を再開いたしました。（事前予約をお願いします。）面会には、暖かい服装をしてお越しください。

夏まつりを開催しました（8月3日）



8月に入って間もない3日に、夏まつりを行いました。昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大予防のことから、施設職員と利用者の皆さんのみでの実施となりました。写真からは伝わりませんが、館内には夏まつり演出のための音楽を流し、屋台で



綿飴などをお配りしましたが、かき氷ではメロン味、ジュースではサイダーが圧倒的な人気でした。また、手作り水風船を持つための写真撮影も行っています。盆踊りの前段に行った「歌の体操」は、北国の春と365歩のマーチの音楽に合わせた体操で、座った状態でもできるため、ほとんどの方が参加し、本当に多くの笑い声が館内に溢れ、充実した行事になりました。

スイカ割り大会を行いました(8月30日)



夏の風物詩スイカ割り大会を行いました。
目隠しをしてみました、割れる確率が本当に下がってしまった、(それはそうなのですが)目隠しをしているものと、全員が納得して行いました。今回のスイカは、皮が厚く、何回も棒がヒットしても割れない頑固者でした。
掛け声やスイカのほのかな香りに、いで湯の里が包まれた日となりました。

敬老祝賀式開催(9月16日)



食べられるところは、皆で美味しくいただきました。



北信広域連合副連合長の竹節町長の出席のもと、来賓に長野県北信保健福祉事務所の中沢智子企画幹兼福祉課長をお迎えして、敬老祝賀式が開催されました。
めでたく百歳を迎えられたお二人には、国、県、町からお祝い状と記念品が贈られ、お祝いムードが高まりました。
また、白寿、米寿の方々にも北信広域連合からお祝い状が贈られています。ちなみに、いで湯の里の最高齢は104歳です。



関係されるご家族の方には、この敬老祝賀式にご出席いただき、たかったところですが、やはり新型コロナウイルス感染拡大予防の配慮からご遠慮いただきました。
当日は、アトラクションとして花房むつ宮さんの祝舞や、職員による獅子舞などの披露もあり、祝賀色に包まれました。